

6月1日

中心市街地の活性化をサポート 地域活性化起業人に長谷川奈菜さんが着任

着任された長谷川奈菜さん(左)



地域活性化起業人として長谷川奈菜さんが6月1日、役場まちづくり政策課地域振興係に着任しました。

地域活性化起業人とは、専門的なノウハウや知見を活かし一定期間自治体の業務などに従事するため、民間企業などから最長3年間の任期で派遣される社員のことです。

まちづくりにつながる建築不動産業を手がけるUDS(株)(中原典代表取締役)の長谷川さんは、「培ってきた知識を活かし、力になれる分野で貢献していきたい。」と話していました。

5月30日

気になる企業と直接対話 第3回合同企業説明会を開催

ブースで説明を受ける弟子屈高校生



町商工会(竹森英彦会長)主催の「第3回合同企業説明会in弟子屈町」が5月30日、摩周観光文化センターで開催されました。

説明会は事前申し込み不要のブース形式で実施され、今回は町内の12事業所が会場に集結しました。また、前回よりzoomによるオンライン説明も取り入れ、移住を検討している町外の方にも対応しています。

就職を希望する弟子屈高校生をはじめ、若い世代からシニア世代まで幅広い年代の方が説明会に参加しました。

5月16日

長年にわたり地方自治の発展に貢献 故・山田博さんが旭日単光章を受章

勲章と記勲を手にする岳史さん(中央)



本年2月に逝去された、元町議会議員の故・山田博さんに、特別叙勲・旭日単光章が授与されました。

伝達は5月16日に山田さんの自宅で行われ、長男の岳史さんに徳永町長から勲章と記勲が手渡されました。

山田さんは、平成11年から令和2年まで6期21年にわたり町議会議員を務め、この間、副議長、議会運営委員会委員長などを歴任されました。地方自治の発展と社会福祉の向上に長年貢献したとして、この度の受章となったものです。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかげつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

6月5日

緑あふれる町を目指して 町植樹祭で苗木45本を植樹

手際よく植樹する参加者の皆さん



「釧路管内広域プロジェクト連携事業～森林(もり)は自然の貯金箱～令和8年度町植樹祭」が6月5日、町林業多目的センターで行われました。

本植樹祭は、緑のふるさとづくりを目的に、町と町緑化推進委員会(徳永哲雄会長)が主催で毎年行っている環境保全・緑化推進事業です。今年は関係者など約30人が参加し、同センター敷地内にエゾヤマザクラの苗木30本、ヤマモミジの苗木15本を分担しながら植樹しました。

6月4日

新たにめん羊牧場を開業 新規就農者に奨励金を授与

新規就農者の村田さん(左から2番目)



新規就農者、村田岳史さんの新規就農者奨励金授与式が6月4日、町役場で行われました。大阪府出身の村田さんは配偶者の地元である

本町に移住後、3年間白糠町の研修先にて羊に関する技術や知識を習得し、今年4月からめん羊牧場の経営を開始しました。

授与式には徳永町長、町農業委員会の岡村牧会長代理、釧路農業改良普及センターの石澤裕史次長が出席し、町から村田さんに就農奨励金の目録が贈呈されました。

5月19日

互いに助け合う体系づくりを 令和8年度町防災士会総会を開催

佐藤会長による挨拶の様子



町防災士会(佐藤康弘会長)の令和8年度総会が5月19日、町社会老人福祉センターで開催されました。総会では、今年度の事業計画として企業BCP(事業継続計画)作成サポートや、防災教育への協力などが承認されました。

総会後は「3.11を忘れない」をテーマに、東日本大震災の被災地でボランティア活動に従事した浄土真宗本願寺派本照寺の菅原誓之住職による基調講演が行われ、被災者に寄り添った支援の重要性が話されました。

5月19日

地域と自衛官志願者の架け橋 自衛官募集相談員に委嘱状を交付

相談員を務める藤田さん(中央)



自衛官募集相談員の委嘱状交付式が5月19日、町役場で行われました。同相談員は、自衛官志願者への情報提供や募集広報活動など、募集に関する業務を援助する

民間の方です。今回、徳永町長と佐藤靖倫自衛隊帯広地方協力本部部長の連名により、藤田肇さんに委嘱状が交付されました。任期は6月1日から令和10年5月31日までの2年間。藤田さんは令和4年から相談員に就任しており、引き続き活動に協力していただきます。

6月6日

川湯温泉駅まで延長運行 「ノロック川湯温泉号」を歓迎

川湯温泉駅に入線したノロック号



JR北海道釧網線の釧路-塘路間を運行する観光列車「くしろ湿原ノロック号」が6月6日、「ノロック川湯温泉号」として川湯温泉駅までの延長運行を行いました。

駅では町の特産品販売や三味線演奏が乗客を出迎えたほか、待合室内では沿線郵便局とのタイアップ企画としてスタンプラリーや町の湧き水を使用した絵手紙体験が行われ、ホームは大いに賑わいました。

ノロック号の延長運行は9月19日(土)にも行われる予定です。

6月6日

JICAとのコラボ開催 第3回カンボジアとグローバルフェスタin昭栄

アフリカ布で作ったヘアゴム、缶バッチ作り



第3回カンボジアとグローバルフェスタin昭栄(同実行委員会主催)が6月6日、旧昭栄小学校舎で開催されました。

有志によるフリーマーケットやさまざまな国の民族衣装を身にまとうファッションショー、町内飲食店などによる多国籍料理の提供など、内容は年々進化しています。

また、JICA北海道(帯広)釧路デスクの協力で、海外協力隊の紹介パネル展やアフリカ布を使用した制作体験などの企画も行われ、国際化を身近に感じられる一日となりました。

5月24日

日頃の活動成果を披露 文化協会「春のまつり」で芸能発表

日本民謡北海道金埵り唄



町文化協会(鈴木幸菜会長)主催の「春のまつり」が5月24日、町社会老人福祉センターで開催されました。

同まつりは、各団体が日頃の活動成果を発表する場であり、今回は6団体から約80人が参加。子どもたちによるパトンやダンスのほか、詩吟や舞踊などの伝統芸能、カラオケが披露され、訪れた観客からは盛大な拍手が送られました。

これまでに8団体が所属していた同協会へ新たに5団体が加入となり、今後ますますの活躍が期待されます。

5月20日～22日

広大な牧草地でのびのびと 多くの若牛が町営牧場へ一斉入牧

牧場に到着した若牛たち



5月20日～22日の3日間の日程で、町内の酪農家で育てられた若牛が町営牧場・900草原へ入牧しました。今年1,233頭の牛が入牧。各農家から運ばれてきた

牛たちは牧場へ到着すると、力強い足取りで家畜車から降り立ち、体重測定や個体写真の撮影、消毒などを受けた後、牧草地へ放牧されました。

これから10月末まで、栄養豊富な牧草をたっぷり食べ、起伏ある広大な牧場で足腰を鍛え、たくましく成長して畜主のもとへ帰ります。